

コミケビギナーのための 超・速・解 アドバイス



100回を超え、コロナ中止を超えて続いていくコミケット。今回もさまざまな変更点がありますが、だんだんと良い方向に向かっていることを信じて、参加者側も常にアップデートを続けていきたいですね。

良き参加者こそが、より良いイベントを作っていくことができるのですから！



Comi-NaviはC102で運営開始から20年を迎えました！

■■環境対策変化アリ■■

コロナ禍以前、コミケットに参加するのは無料で、一般参加者は早朝の待機開始時間以降、開場時間内の好きなときに来場すれば良かった。しかしその代わり入場待機時間は長く、炎天下や寒空の下で延々と行列を続けなければならず、参加者には長時間待機への対策が必須とされた。

しかし、現在のコミケットはチケット制の導入で入場待機時間は以前より確実に短縮された反面、新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いている。これらの変化によって、参加者がコミケットに臨む際の準備も以前とは大きく異なるものとなってきている。

常に最新の参加情報をチェックし、装備や会場での過ごし方を最適化していこう。

■待機時間と必要な準備■

コミケットに一般参加しようとした場合、なるべく開場時間に近い早い時間に入場するために早朝から入場待機列に並ぶか、開場後待機列が短くなるか、無くなる頃に会場に到着するように行くかの二択となる。今C102から午後入場リストバンドが発売されることから、この二分化は一層進むと思われる。

どうしても手に入れたい新刊がある、目当てのサークルの数が多い、というような参加者は開場前から友人知人と会うため、あるいは単にコミケットを見物したい、など、急ぐ理由が無い参加者は午後からゆっくり来場すればよい。特に初めて参加してみようという方は、まずは午後から参加して無理なくコミケットの雰囲気を感じてみることをオススメしたい。

コミケットとは切っても切れない『行列』だが、コミケットが過酷と言われる原因の大半が入場待機や大手サークル（ときにトイレ）の列に並び続けなければならないことに起因すると考えられるので、意図してそれを回避できるなら、コミケットへの参加は大分気軽なものになるはずだ。

●朝から装備・午後から装備

とはいえ、いくら午後からのんびり参加しようという場合でも、それこそ手ぶらで来場しようというのでは問題がある。入場待機列が消えた後の時間帯でも、コミケットの会場はある程度の時間と距離を歩かなければ出入りできないので、真夏一日で一番暑い時間帯に屋外を歩いたら短時間でもそれなりの準備がほしいし、そもそも気に入った同人誌を購入すればそれを入れるバッグや袋が必要だ。気軽は気軽なりに、参加者には全員が最低限しておくべき用意というものがあ、それに加えて、過酷環境とされる待機時間に対応するための用意を追加するのだと考えてほしい。

『装備』という言葉は『装い＝着ていくもの』と『備え＝持っていくもの』という2文字でできている。コミケットであれ、例えば登山や海水浴やサイクリング、コンサートなどであれ、自分の普段の生活と環境や活動時間が大きく異なる場所にでかけていくな、それ相応の装備を用意することは自分の安全を守り、その非日常を存分に楽しむために必要不可欠だ。

せっかく出かけたのにアレが無いコレが足りないでツライ思いをして楽しめなかった、というのは一番もったいない。

